

委員各位

第372回産業事情検討会のご案内

第372回の産業事情検討会を以下の通り開催致します。

当案内状と共にEメールによるご案内も送信しております。同封の葉書またはFAX、あるいはEメールのいずれかで出欠の有無をご連絡頂きますようお願い申し上げます。

<テーマ>

移民の経済学－日本社会と企業の選択

■ 講師：友原章典氏

青山学院大学 国際政治経済学部教授

■ 司会：大塚寿広

(株)現代経営技術研究所 主任研究員

● 日時：2020年9月25日(金) 15:00～17:00

● 開催方式：Zoomによるオンライン開催

今回は友原章典氏を講師にお招きします。氏の近著「移民の経済学」(中公新書)は、思想やイデオロギーのバイアスをかけず、移民受入れのメリット・デメリットを冷静に経済学的分析によって検証、解明した話題作です。氏のお話をうかがい、この問題を多角的に捉え、今後の移民政策への日本社会と企業の取り組みについての私たちの選択について検討致します。

皆様の是非のご参加をお勧めいたします。

I. 世界と日本の現在－移民の動態と各国移民政策の比較分析

II. 移民がどんな社会変容をもたらすのか－世界事例の検証と解明

雇用環境が悪化するのか、賃金を押し下げるのか。／経済成長に貢献するのか。／人手不足を救い、女性活躍を促進するのか。／社会保障が崩壊するのか、強化されるのか。／イノベーションの起爆剤になるのか。／治安が悪化し、社会不安を招くのか。 他

III. 日本社会と企業の選択

- 日本のモノづくり、研究開発、ITの現場は移民政策によって活性化できるか
- 「現状維持」「多文化共生」「技術革新」というオプション
- 私たちはどのような日本社会を望むのだろうか

IV. 質疑応答

<講師紹介>

青山学院大学国際政治経済学部教授。2002年、ジョージ・タウンズ大学大学院によりPh.D.(経済学)を取得。世界銀行や米州開発銀行にてコンサルタントを経験。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)経営大学院エコノミスト、ピッツバーグ大学大学院客員助教授およびニューヨーク市立大学助教授等を経て現職。本年出版の「実践幸福学 科学はいかに「幸せ」を証明するか」(NHK出版新書)と「移民の経済学－雇用、経済成長から治安まで、日本は変わるのか」(中公新書)はともに私たちに新しい視座から社会や人生に向き合う手がかりを与えてくれる注目作である。

現研 (株)現代経営術研究所